

おみさと

No.37
2014.1

美郷町議会だより



- P2 第4回 定例会報告
- P3 総務常任委員会視察報告
- P3 経済常任委員会視察報告
- P4~10 一般質問 -7人登壇-
- P11 どうなったの? あの質問...
- P11 議会基本条例制定に向け研修会を開催

- P12 三江線を守る議員連盟報告
- P12 議会活動報告
- P13 住民の声
- P13 議会広報についての意見・応募をお願いします
- P14 新年の挨拶
- P14 編集後記

題字：桧垣 大翔 君 (邑智小4年)

平成25年美郷町議会 第4回 定例会報告

平成25年最後の第4回定例会が12月9日に招集され、会期を12月13日までの5日間とし、条例案2件、予算案5件が提案され慎重審議しました。

また、一般質問は12日に行われ、7人の議員が質問台に立ち、町行政について質しました。この日は40人余りの町民の皆さんに傍聴に来ていただきました。

提案された議案については、13日の最終日に全議案とも原案どおり可決し閉会しました。

提案された議案

条例案

山村開発センター条例を廃止する条例について

既存の山村開発センター施設を新たに多機能コミュニティセンターとして建替えるための条例廃止。

子ども・子育て支援推進会議設置条例の制定について

子ども・子育て支援法の公布に伴う支援推進会議設置の条例の制定。

予算案

平成25年度一般会計補正予算並びに特別会計補正予算

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	75億7,463万1千円	1,362万円	75億8,825万1千円
簡易水道事業特別会計	1億7,898万円	9万3千円	1億7,907万3千円
下水道事業特別会計	2億9,172万4千円	450万1千円	2億9,622万5千円
君谷診療所特別会計	491万円	34万8千円	525万8千円
国民健康保険特別会計	7億116万2千円	1,657万3千円	7億1,773万5千円

陳情

陳情の要旨	審査結果	付託常任委員会
若者定住住宅建設に関する要望 (美議陳第4号)	不採択	経済常任委員会
間野川並びにつづら谷の防災対策について (美議陳第6号)	採択	経済常任委員会
町道田水線の道路改良と待避所設置に関する陳情 (美議陳第7号)	採択	経済常任委員会

【美議陳第7号の審査結果についての意見】

田水自治会から提出された、「町道田水線の道路改良と待避所設置に関する陳情」は、道路改良について、道路構造基準に照らし厳しい状況である。よって、当面待避所とガードレールの設置により安全を確保していただきたい。

平成25年12月議会 議案審議結果

議案番号	件名	結果
議案54号	美郷町山村開発センター条例を廃止する条例の制定について	全会一致可決
議案55号	美郷町子ども・子育て支援推進会議条例の制定について	全会一致可決
議案56号	平成25年度美郷町一般会計補正予算(第3号)	全会一致可決
議案57号	平成25年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	全会一致可決
議案58号	平成25年度美郷町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	全会一致可決
議案59号	平成25年度君谷診療所特別会計補正予算(第1号)	全会一致可決
議案60号	平成25年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	全会一致可決

総務常任委員会視察報告

総務常任委員会では、平成25年11月18日(月)～20日(水)、小中学校へタブレット端末を導入されている鳥取県日南町をはじめ、滋賀県竜王町の特定健診受診率の向上対策、兵庫県上郡町の高齢者の保健事業と介護予防事業について行政視察してまいりました。

教育現場に導入された タブレット端末の効果

鳥取県日南町

平成21年6小学校を統合し中学校に隣接して開校され、「小中一貫教育」を推進に併せ教室へのエアコン設置など教育環境の整備に力を入れている。

平成25年9月小学校4年生以上、中学生全生徒にタブレット端末を導入され授業に活用されている。結果、児童生徒の個別データの蓄積により苦手としている箇所の把握ができるなどポイントをつけた効果的な指導が可能となっている。



タブレットによる授業風景

特定健診受診率向上対策

滋賀県竜王町

特定健診を受信していない住民ほど医療費が高額になる傾向があることから、未受診者に対し目にとまりやすい葉書や受信歴がないことを示す「×」印を並べて記載するなどインパクトのある文面による勧奨や日曜日検診など事務担当、保健師の二人三脚による取り組みがされている。

高齢者の保健事業と介護予防

兵庫県上郡町

年々増加する要介護認定者と、高齢者のがんの実態が明らかになったことにより、「健康プラスワン講座」として豆知識や生活習慣病について職員の食生活の実体験を事例としたグループワーク、調理、健康体操などの実習を実施されている。また、要介護者の抑制については運動機能向上、栄養改善、口腔機能の向上など総合健康相談を実施し、保健と医療の連携により積極的な事業の展開がされていた。

経済常任委員会視察報告

経済常任委員会では、去る12月18日に大分県日田市大山町に視察研修を行いました。

梅酒1本4500円!

大分県日田市大山町

この大山町は50年前、国の農業政策に反して米作りから梅や栗を栽培するという、農業改革を行いました。

「梅栗植えてハワイに行こう」の合言葉で、従来の耕種農業から知識集約化産業への取り組みを行った町です。

私たちは、第3セクターの株式会社「おおよま夢工房」が経営する「お宿あさもや」に宿泊し、併せて研修もさせていただきました。

視察研修では、「おおよま夢工房」の取締役総支配人の緒方秀雄さんから、おおよま夢工房のこれまでの取り組みについて、約2時間にわたりお話を伺いました。

旧大山町は梅と栗の栽培で全国的に有名になったところです。いわゆる1村1品運動のはしりの町で成功した町ですが、農産物の自由化の波を受け低価格競争により、大きなダメージを受けました。

そこで、農業を再生するには単なる農業改革ではなく、産業構造そのものを変えていく必要があるとして、産業界や官民の垣根をなくし、市町村界、県境、国境を越えた連携と協働が必要として、平成10年に旧大山町と

ニッカウヰスキー、町内外の個人の出資により、柔軟な対応が可能な地域づくりの株式会社「おおよま夢工房」を設立されたそうです。

総支配人緒方さんは話の中で、ニッカウヰスキーの技術提供を受けて梅酒を開発、フランスで先行販売し日本のメディアに取り上げられてから本格的に販売を開始したことで、200cc位の梅リキュールが4500円で売られていること、4000円の梅ジュースをANAの機内販売で27000本売れたことなど、販売戦力の重要性について熱く語っていただきました。

また、地元の情報地元の特に子供たちに流すことが必要とか、おばあさんの発想で梅干しの全国大会を開催したことにより農家の知恵が生かされるようになったこと、補助要項に合う事業をやっているため、補助金を作らせるような取り組みが必要、都会人が知らない食材や食べ方をPR、付加価値を高めるために量産はしないなど、4000人の小さな町の取り組みには多くのヒントを受けることが出来ました。

これからは6次産業化が地域活性化に大きな影響を与えてくるだろうと実感した研修になりました。



付加価値の高い梅商品



太陽光発電事業の推進を

パネル設置や運営管理が可能な企業を模索



旗根 正一 議員

問

大和事務所に太陽光発電パネルを設置したことで、併設している診療所の災害時の電源が確保されて喜んでいる。現在我が国の電力供給は、

原子力発電所が停止し、かわりに火力発電により電力供給が行われているが、温室効果ガスの削減目標に大きな問題がある。原子力発電所を再稼働させることは難しい中で、太陽光発電が注目されている。町として発電最適場所を確保し、民間業者による太陽光パネルの設置や運営管理を行ってもらう太陽光発電事業を推進してどうか、町長の所見を伺う。

答

町長 今年8月に、大規模メガソーラーの候補地

について、机上により1ヘクタール以上で農地以外の場所を検討した結果、町内の5か所を選定した。民間会社により太陽光発電システムのシミュレーションを行った結果、戸谷と惣森で時間あたり1500キロワットの発電電量、明塚と吾郷は740キロワットの発電電量と試算された。用地造成が必要である場所もあるが、総工費2

問

事業を行うにあたり国、県等の補助事業があるのか。

答

企画課長 大規模メガソーラーに補助事業はない。町が実施している新エネルギー補助金は、家庭が対象で、16件が実施している。これは1

キロワットあたり5万円、県の上乗せ1万円があり、上限が24万円である。



大規模メガソーラー施設



山本 幹雄 議員

運休期間を利用し、支障木の伐採を

活性化協議会で取り組む



雑草が線路をこえる運休中の三江線

問

8月の豪雨災害で三江線が不通になってから、4カ月になろうとしている。不

通区間の線路は錆上がっているし、線路を横断してはびこっているクズのつるを見ると、残念

でならない。三江線活性化協議会の取り組みに敬意を表するとともに、次の仕掛けを期待する。三江線を守る議員連盟も積極的に参加し、皆さんとともに取り組んでいく考えだ。運休期間を最大限に利用し、沿線の車窓からの景観の邪魔になっている立木を切り、見晴らしをよくすることで、復旧後の観光客の増加を図るといっている。三江線の川に沿って走る三江線は素晴らしい観光資源であり、集客の重要なアイテムになり得ると思う。通常では線路の沿線の作業には厳しい制限があるが、全く運行していないのでJRも厳しい規制をかけるとは思えない。イベント的にボランティアを募り、各種団体にも協力を呼びかけ、不通区間で一斉に行えば大きな効果があると思う。三江線に思いを寄せる沿線住民の気持ち在全国に発信できる取り組みになると思うが町長の考えを伺う。

答

町長 8月の災害以降、沿線6市町で組織している三江線活性化協議会でも、支障木の伐採について意見があり、具体的な箇所について各市町で検討することとしている。川本町では運行していない路線上のウォーキングの提案があったが、JRは軌道内を歩くことについて、信号などの電気設備が配線してあることで線路内に入ることに難色を示したため、別のルートによりウォーキングを計画した。美郷町としては、沿線の伐採もしくは枝打ちなどを実施すれば景観がよくなる箇所があるため、今後、具体的な場所や日程を調整し、活性化協議会やJRと協議する中で、地域のボランティアを募るなどしながら、三江線復旧までの間を利用した取り組みを検討したい。

消えた横断歩道の復元と美郷町道路監視員設置規程の強化を



福島 教次郎 議員

各管理者へ連絡して 早急な対応に努めたい

問

青色パトロール隊の活動の後、横断歩道を見るとそれはわずかな線が見え隠れしている状況であった。道路管理上これでいいのか、これで安全が確保できているのだろうか、疑問に感じている。これは全町の言えると思うが、この消えてしまった横断歩道は復活できるのか伺う。また美郷町道路監視員設置規程では職員が通勤時において、道路を監視し異常の発見に努めるとあるが、職員も通勤時だけでは非常に難しいのではないかと。お金がかからないようなチェックの方法として道路監視のモニター制度、あるいはサポーター制度が考えられ、道路の長期寿命化も図れると思うがいかがか。

答

町長 一時停止線、オレンジ色のセンターライン等の管理は公安委員会、横断歩道やその手前にある菱形の指示標識は警察署、外側線や白のセンターラインはその道路の管理者、規制標識等は、警察署において巡回点検により半期ごとの補修計画がされている。その他の白線は島根県、本町において

も随時補修している。消えている歩道や外側線については、各管理者へ連絡して早急な対応に努めたい。道路監視員設置規程には道路の異常や住民からの要望等を町長へ報告することとなっており、落石や側溝の不具合等通勤途中で把握できる範囲内の報告は、幾度か受けている。

答

建設課長 通学路の安全点検については国をあげてなされているが、通常の道路も重要である。建設課としては安全、安心を第1の目標としており、早急な維持補修ができるように、業者と年間契約をしながら対応ができるような体制をとっている。道路監視の今後

公共施設・公共トイレに ベビーシート・ベビーカーチェアの設置を 利用頻度の高い施設から検討していく

問

乳幼児を抱える保護者から、ベビーシートとベビーカーが町内の各施設にあれば、いろんなイベントや検診にも出かけやすいという声を聞く。今後は授乳室も含め、子育て政策の一環として、乳幼児の多い地域から少しずつ公共施設、公共トイレに設置をしてみたいか。加えて新しく建築される予定のコミュニティセンターを含め、今後施設等建設が必要になった場合には、設置はどうされるのか町長の見解を伺う。子ども子育て支援推進会議の中でも検討できないか併せ

答

町長 設置状況は町内公共施設では建築年時の新しいものみの状況である。来年度竣工予定の多目的コミュニティセンターは、全階の多目的トイレ内にはベビーシートとベビーカー、女子トイレには全階全箇所にはベビーカー、男子トイレには全階各1箇所にはベビーカーを設置、また2階の図書館には、授乳コーナーの設置を計画している。近年の公共施設の多くは基本的にはバリアフリー化が実施をされ、ベビーシート、ベビーカー付きのト

は、普及しているメールなどの通信機器を利用した情報提供や、ボランティア監視等を含めて検討していきたい。



経年劣化で消えた横断歩道

答

総務課長 利用頻度が高くて、ベビーシート、ベビーカーのスペースが確保できる施設については、設置に向けて検討していきたい。

答

住民福祉課長 議論し検討していきたい。計画にも載せたい。



原 克美 議員

ペレット製造事業中断に対し 町の対策は

既存機械の利用による事業の 継続に向け検討

問 「美郷町新エネルギービジョン」も5年が経過し、状況も変わってきている。現在、目標値に対する状況と、住民にわかりやすい目標値が設定されたビジョンへの見直しをしてはどうか。

答 町長 現在、二酸化炭素排出量は、年間292トン削減で、削減率4・2%となっている。対策として「新エネルギー設備導入促進事業」の継続と「再生可能エネルギー等導入推進基金事業」等を継続的に県へ要望していく。

答 企画課長 ビジョンは5年経過しているため、概要版をわかりやすく見直すため検討していく。

問 策定委員会において太陽光、チップボイラー、薪ストーブの先進地視察をされているが、なぜ美郷町はペレットを選択されたのか。

答 町長 ゴールデンユートピアのペレットボイラー導入に併せ、新産業創出と雇用の拡大による地場産業の活性化が図れるものと考えた。

問 「新エネルギー供給施設整備事業」の補助要綱にある金額では事業の実施は可能ではなかったか。

答 企画課長 当初において8社の見積もりを取り、生産能力、人件費などを考慮し決定した。

問 事業者の選定の経緯と稼働に至る町のかかわりはどうだったのか。

答 町長 当初、町内チップ製造業者から事業見積もりを提示していただいたが、新工場拡大と資金面において実施

に至らず、製材機能がありペレットの原材料であるコア板のあるVジャパンウッドに検討をお願いした。結果平成22年1月事業実施を判断された。

問 機械導入直後からペレット製造機械の不具合が続く、計画通りの導入とは言えなかったのではないか。

答 企画課長 機械導入に關して機械の能力を勘案する中で価格が一番低い機械を導入した。結果的には指摘のとおりである。

問 機械の導入については、町担当者も機械メーカーに同行し決定され、設置時においても担当者が検査に立会うなどして現在に至っている。

答 町長 事業再開に向け検討していく。

答 企画課長 機械の移動、オーバーホールし、チップを活用したペレット製造に向け、費用を含め調査中。



再稼働を待つペレット製造機と工場





藤原 修治 議員

災害で孤立した集落の冬期対策は

除雪等に万全を期し 自宅での生活確保に努める

問

豪雨災害により、湯谷集落の一部住民は、未だに孤立した状況にあり、急峻で危険な林道を利用し、大田市經由での生活を余儀なくされている。冬の積雪期を迎え、他地域への移住を検討されている方もある。

この地域の状況認識と、関係者の安全安心な暮らしのための具対策、また、一時的な避難住

宅等が必要となる住民への、人的支援について考えを伺う。

答

町長 この路線は現在も通行止めである。大規模地すべりのため、上部を県営事業の緊急治山事業で、下部を林道災害として復旧する計画である。地元関係者の方々には大変なご不便をかけているが、自宅での生活を確保することを最前提とし、冬季の道路管理につ

有害鳥獣の駆除対策は

農水省の駆除対策には取り組まない

問 ① 被害対策効果をあげる直接的な手段である有害駆除の状況と、駆除班の育成について考えを伺う。

② 町の有害鳥獣駆除の補助金(6千円)に、農水省の鳥獣捕獲対策の交付金(8千円)を上積みし、駆除班員の育成と駆除効果を高める考えはないか伺う。

答

町長 ① 今年度のイノシシ捕獲数489頭。平成16年以後では平均450頭。平成20年以後は100名前後の駆除班員で推移。駆除班については、農家を主体として組織作

りを行う。今年度も4名の駆除班員が加わった。自分の田畑は自分で守るという願望や、駆除後の処分の確立により担い手作りに繋がった。駆除活動の障壁が徐々に取り除かれることが、駆除班育成につながるよう取り組みを今後も継続していきたい。

② 交付金は駆除に対する経費に交付され、獣害の確認が義務付けられている。駆除経費の上乗せで駆除頭数の拡大は期待できるが、被害額の減少につながるという考えに

ては、除草や側溝整備などにより路面の凍結を予防するとともに、除雪のための除雪車を1台リースで確保している。空室となっている町営住宅への関係者の仮住まいも併せて検討をした。早期の復旧が困難である状況のもと積極的なサポートを行う。

問

は疑問を持っている。駆除頭数の増加が被害を軽減させる、という結果につながっていないことが数字で明らかになっている。一時的な駆除経費の上乗せによる一過的な対策は慎むべきだ。これまでの方針である正しい防護のノウハウの蓄積、効果的な追い払い体制、有害獣を寄せ付けない地域環境作りに入力していきたい。

答

先般、湯抱に730ヘクタールの鳥獣保護区域が再設定された。昭和40年から指定が続いているが、時代は変わり保護区の役割は終わっている。駆除対象であるイノシシ等の保護・増殖を図る保護区が美

答

郷町に必要であるか伺う。

産業課長 11月1日から今後10年再指定された。意見聴取会で湯抱保護区には農地を除外してほしいと要望もしたが、最終的には県の審議会で決定されているのが実情である。保護区の検証を行ってほしいという要望を述べたが、そこから先の審査で決定された経緯はこちらでは解らない。駆除期には駆除できても、期間が終わると保護区になることは、また増えるということが考えられるので、保護区設定が獣害被害に影響を与えているのではないかを、研究者と議論したいと思っ



通行止めになっている林道上山線



栗原 進 議員

国道375号沿線の活性化は

親しみやすい国道として、
情報を発信していくことが必要

問

松江自動車道が開通し、近隣の国道等の交通量が減り、沿線の商業施設に影響が出ている。特に国道54号は交通量が激減し、沿線町村では危機感を持ち、道路利用活性のための検討を行い、県事業でサイクリングコースを導入し活性化を図っている。国道375号は、三次市、美郷町の一部に道路改良が残っているが、大田市・広島県呉市を結ぶ山陰山陽を横断する道路で、隣接する大田市には世界遺産石見銀山がある。これにより国道375号の交通量が増え、特に、二輪車（単車）の往来が目立ち、利用者の方からは、「沿線の景色がいい」「路面が平坦で走りやすい」との評判で三次市から美郷町間の江の川沿線の景色は、目を見張るものがある。鳥根県観光戦略アドバイザーからも沿線の景色は観光客を誘致するに十分値する、特にJR潮駅周辺の桜並木はすばらしいと絶賛されている。美郷町は



「道の駅」で開催されたまほろば市

観光資源の少ないところではあるが松江自動車道の開通をチャンスととらえ、国道375号沿線の活性化を図るときと考えるが。

答

町長 現在国道375号間は作木から三次市内の間が未改良のままとなっており、高速道路利用者からの入り込み客の増を図るには、三次インターから直接誘導できるようにならなければ、利用客の誘導は難しいと考えている。期成同盟会を中心に、早期改良を要望し

ているが、松江尾道線全線開通年度までに完了することは無理な状況である。このような、沿線の自治会などが計画しているコミュニティ事業や、ツーリングイベントなどを通じて親しみやすい国道として、情報を発信していくことが大切であると考えている。

答

建設課長 道路改良については粕洲工区の湯抱側はトンネルが抜け、事業は進んでいるが、問題は粕洲連坦地内が未決定であり、最終的に何年

で開通するかは決まっていない。周辺に消防署、保育所等公共施設があり、交通安全の観点から道路改良を早急に要望しているところである。高速道路三次インターからの国道375号への誘導は、三次市作木町門田地内が未改良で工事が進んでいないが、国道54号布野地内からの誘導は可能と考える。地域沿線の自治会の活動、イベントを江の川沿線で実施することなど、いろいろなか形で情報発信することが必要と思う。

「道の駅」に

公衆無線LANサービスを

設置を検討したい

問

国交省が地域を活性化するため「道の駅」の支援を充実すると報道がある。将来電気自動車の普及を考えEVの充電器、公衆無線LANサービス（WiFi等）、東日本大震災を踏まえ、復旧活動や防災の拠点として使用する非常用発電機を設置するとの内容であるが、町が公共施設等へ公衆無線LANサービスを進めて

答

企画課長 公衆無線LANサービスについては現在在ゴールデンユートピアへ設置をした例がある。今後需要はだんだんと増えてくると想定しているので検討したい。



岩根 和博 議員

粕淵集会所の移設の現状は

消防団自動車分団倉庫との 整合性を検討

問

粕淵集会所の移設について、平成23年2月10日みさと産直協議会会長から陳情書が提出され、移設を条件に採択した経緯がある。しかし方針が一転二転して、未だに現状のままであるが、この間の状況と今後の方針を問う。

答

町長 町にも陳情書が提出されている。また、平成23年1月24日には粕淵連合自治会長より連合自治会の活動拠点として、さらに粕淵連担地9自治会の集会所の機能を持つ場所づくりが必要として、集会所新築要望書が提出されている。平成24年11月22日には、連合自治会長から粕淵連担地9自治会長の検討報告書を添付して、集会所建設場所等を指定し、再度粕淵集会所建設要望書が提出された。平成25年1月16日連合自治会長及び粕淵連担地の自治会長と副町長及び総務課長が出席し意見交換した。その中で町から、開発センター建て替えを計画する中で、集会所機能を有するものを建設したいと提案し、了解されました。平成25年6月27日の第2回多機能コミュニ

ティーセンター建設検討委員会で、集会所機能を持つという意味が、連合自治会では専用の部屋を作ることであり、町の構想してきた集会所機能を持ったスペースを確保することとは、機能の受け止め方の違いがあきらかになったため、平成24年11月22日の要望書が提出された時点に戻った状況である。

問

集会所の解体予算400万円が計上されながら、なぜ解体されなかったのか。

答

総務課長 この集会所は同和問題を解決することを目的として建設された教育集会所である。これを解体し替わりのないという事は出来ない。また用地も無く移設が進まなかった1つの理由である。

問

移転先用地が無いと言われるが何mが必要であるのか。例えばポプラ店の裏にある敷地や旧保育所跡地もあるが、利用することが出来ないのか。

答

総務課長 ポプラの裏の敷地面積は500㎡近くある。しかし、集会所を多機能コミュニティーセンターに入れ

ることについて、ある自治会から遠くへ行けないとの意見も出ている。

問

集会所は教育施設で町が建設することで、現在の位置から20〜30メートルしか離れていない。そこに移転新築しても何も変わらないと思うが。

答

総務課長 遠い近いは色々あると思いますが、教育集会所であり、地元にご利用してもらえないと価値がない。地元自治会の同意も必要であり、強引に建設するつもりはありませんのでご理解願います。

問

自治会が利用しているのは、年平均10回程度であり、建設予定の消防倉庫を、集会所に利用する等意見もあるようですが、町が教育施設としての集会所を建設するならば、しっかりとした案を示し対応しないと、問題解決しないのでは



検討中の粕淵集会所

答

総務課長 積極的な発言であり、誠意をもって対応する。

要望

最後に集会所の解体を来年度には必ず実行できるように本年度から手掛け、町長が言われる建設予定の消防団自動車分団の倉庫との整合性を検討され、早期に問題解決するよう強く要望する。

シリーズ
追跡

どうなったの？ あの質問…



本会議で行った一般質問で改善や検討を求めています。
指摘した事項に、町当局がどう取り組んでいるかを追跡調査しました。

平成23年 第2回定例会（6月）

問

国民健康保険証をひとり一枚のカードに

答

システムの更新に合わせ 検討する

平成25年6月10日より国民健康保険事務の変更に伴い10月1日より新規にひとり一枚の被保険者証が交付されました。



新しくなった被保険者証

議会基本条例制定に向け研修会を開催

議会では、9月定例会において「議会改革特別委員会」を設け、議会の定数の検討をはじめ、議会をどう活性化し町民の期待に応えられるか、議会・議員には何が必要かとの検討をすることとしました。12月4日、県内では初めてとなる議会基本条例が制定された邑南町で、中心的役割をされた元議員日高勝明氏を講師に招き議会基本条例研修会を開催しまし



講師 日高勝明氏

た。議会基本条例は、議会のあるべき姿、議員の役割、町民と議会のかかわりなどを条例で定

め、議会の公平性、透明性の確保、町民に開かれた議会、町民と共に推進する議会を目指すものです。2時間にわたる研修で少し方向がつかめた感じがしています。これからさらに研修に努め、皆さんの期待に応えられる議会にしたいと考えています。



議員の訃報

井下慈海議員が12月16日死去されました。

井下議員は、平成17年8月1日初当選以来連続3期目を迎えておられました。この間、議会広報特別委員長・総務常任委員長を歴任され、地域におかれては、平成7年12月1日から保護司として更正活動に取り組まれその功績により、平成24年には全国保護司連盟会長表彰を受賞されました。ここに、ご功績を忍び謹んで哀悼の誠を捧げます。

■補欠選挙について

公職選挙法では、当選後3カ月以内に欠員が生じた場合は、繰上げ補充により当選者を定めます。欠員が定数の6分の1を超えたとき（美郷町では9名以下）は、補欠選挙を行います。町長選挙等が行われる機会があれば、同時に補欠選挙を行うことができますが、任期満了前の6カ月を切ったときは、補欠選挙は行えないとなっています。

総勢89名 県議連とも連携

三江線を守る議員連盟

三江線を守る議員連盟では、美郷町議会議員の改選にともない議長交代があったことから、9月29日の役員会で役員改選を行い、佐竹議長を新しい代表に決定しました。

10月17日に代表・事務局長など4人で、三次市議会と安芸高田市議会にあいさつを兼ねて今後の取り組みなど協議するため



島根県議会三江線活性化議員連盟を訪問

に訪問しました。

三次市議会では議員連盟に中原議長ほか24名の議員全員に加盟していただきました。安芸高田市議会は塚本議長と三江線沿線の議員2名に加盟していただきました。

その結果議員連盟は89名という大きな力になってきました。

また、10月22日には、佐竹代表、山本事務局次長他2名で、島根県議会の三江線活性化推進議員連盟の洲浜会長、和田副会長、藤間幹事長を訪問し、意見交換をしました。

洲浜会長は、「三江線の復旧についてJR米子支社長は必ずやると約束を得た。その後の取り組みが大事なのでいっしょに頑張っていこう」と、今後の協力体制を確認しました。

議員連盟では三江線の復旧と活性化に向けて、これからも積極的に取り組んでまいります。



安芸高田市議会を訪問

行政報告要旨

三江線は平成26年7月に運転再開の見込み

昨年の8月災害で不通になっていた三江線江津～浜原間は今年7月中に復旧する見込みであると報告がありました。JR西日本米子支社の畑中副社長が来庁して説明があったものです。

議会活動報告 (平成25年8月改選後～)

日付	場所	活動内容
8月		
7	美郷町役場	美郷町議会第3回臨時会
9	美郷町内	経済常任委員会 (災害現場視察)
12	美郷町役場	議会運営委員会
9月		
9～13	美郷町役場	美郷町議会第3回定例会
11	美郷町役場	総務常任委員会
11	美郷町役場	経済常任委員会
13	美郷町役場	議会改革特別委員会 (第1回)
30～2	東京都 (ジェーンパッハ・サポー)	第79回町村議会広報研修会
10月		
3	美郷町役場	広報委員会
5	美郷町役場	広報委員会
7	美郷町役場	議会運営委員会
10	美郷町役場	広報委員会
11	松江市 (タウンプラザしまね)	島根県町村議会議員研修会
23	美郷町役場	美郷町議会第4回臨時会

日付	場所	活動内容
11月		
5	美郷町役場	議会運営委員会
5	美郷町役場	タブレット操作講習会
8	美郷町役場	議会改革特別委員会
11	美郷町 (ゴールデンユートピア)	邑智郡町議会議員研修会
18～20	鳥取県・滋賀県・兵庫県	総務常任委員会先進地視察
26	松江市 (タウンプラザしまね)	一期議員研修会
12月		
3	美郷町	総務常任委員会 (学校施設等視察)
4	美郷町役場	議会基本条例研修会
9～13	美郷町役場	美郷町議会第4回定例会
17～19	広島県・大分県	経済常任委員会先進地視察
25	美郷町役場	広報委員会
26	美郷町役場	広報委員会

美郷の魅力を発信



地域おこし協力隊
新田佳世

地域おこし協力隊として12月から沢谷で活動している横浜出身の新田佳世です。協力隊として滞在中に活動の軸にしたいと考えていることは、美郷の良さを発見して発信していくことです。とはいえ、まだ来たばかりなので、何ができるか現在模索中です。

最近では社会的変化と高齢化で少々様子が変わりましたが、雰囲気は変わりません。

実は美郷町とは長い付き合いがあり、子供の頃から祖母を訪ねてきています。

昔、祖母の家にはみつ峰、納屋に牛、かいこがいて、家の周りには稲と野菜畑がある、豊かな自然の魅力的な場所でした。親戚の家には五右衛門風呂があり、入るたびに興奮したものです。江の川で鮎を釣り、岸辺でタオルの両端を持ちメダカをすくい、沢遊びをしてヒルに食われた体験を学校の友人に自慢げに話したものです。

10代になると私は物事の本当の価値に気づく前に高度経済成長であふれる物質と情報の中、アメリカナイズされた消費・物質依存、物欲の波に飲み込まれていきました。物事の価値や何が大切なのかを考えるようになったのはオランダに留学してからです。

点数評価ではなく個人の意見を尊重し、議論しながら一緒に考える教育、意見を持ち伝える大切さ、何のために学ぶのか、成功例だけではなく失敗例も分析して学びの材料にする教え方で学びの楽しさに目覚めました。また移民の多いオランダ社会の生活を通して多様性の大切さに気づきました。

違った環境に身を置いたおかげ

で私は地球にはいかなる人々が生き、どのような生活をし、何を喜び、何に苦しんでいるか、そのことを強く考え、知りたいと思うようになり、時間を見つけ、機会があれば世界各地、とくに発展途上と呼ばれる国々を訪ね歩くようになりました。また旅を通して豊かさとは何か考えるようになりました。

自慢できる故郷がある事、自然と接点のある生活の豊かさ要素晴らしさに気づきました。

私にとって美郷町はまだ見知らぬ土地です。美郷の生活の知恵、技、伝統、味、自然など色々な事を知り、地域との接点を深めたいと思います。

〆よそ者が何を言っているかとおしかりを受けるかもしれないが、住んでいる皆様に、もう一度自分の住んでいる所の素晴らしさを再認識していただき、外から入って来た私や新しい住人、子供たちの視点を加えながら、美郷の魅力を多くの人に発信していくことを3年間の活動の軸にしたいと思います。

皆さん、意見交換会に参加して下さい!

議会広報についての 意見を下さい!

私たち議会広報委員は、「手に取り・見て・読んでもらえる議会広報」「住民から必要とされる議会広報」になるよう編集委員会で常に話し合っています。そこで、今回多くの住民から意見を聞かせていただくと言う事で、私たちが出張し意見交換会を開催したいと思いますのでよろしくお願い致します。

- ① 各種団体で5名以上。住民グループで5名以上。
- ② 日時・開催場所については相談して決定します。

住民の皆さんの 応募をお願いします!

- ① 掲載写真(表紙等の写真)・撮影場所
- ② 「議会への一言」・「傍聴者の声」等を400字以内。
- ③ 住所・氏名は掲載します。※掲載についての判断は、議会広報特別委員会で行います。

お問い合わせ・投稿される方は、
美郷町議会事務局 TEL.0855-75-1937
E-mail: gikai_sec@town.shimane-misato.lg.jp
までご連絡下さい。

あけまして おめでとうございます

本年もよろしくお願い致します

美郷町議会議員一同



初心を忘れず、公正・公平
をめざし頑張ります。

原 克美

雑草のごとく強くたくま
しく頑張ります。

岩根 和博

初心を忘れず、住みやす
い町づくりを目指します。

栗原 進

町民の皆さんの声を大
切にし努めてまいります。

福島 教次郎

今年から始まる議会文書の
タブレット化に期待します。

藤原 修治

議会改革に力をいれて
参ります。

西嶋 二郎

全員一丸となり町政発展
に努めます。

佐竹 一夫

初心にかえて頑張ります。
今年もよろしく。

安田 勝司

皆が笑顔で幸せを実感で
きる町づくり。

篠根 正一

町民の声を町政に積極
的につたえます。

黒川 民次郎

議会が変われば美郷が変わる。

山本 幹雄

また、議会改革特別委員会で検討して、山陰両県で初めて、タブレット端末の導入を決め、一般会計補正予算で27台分の購入導入費を可決しました。3月議会からの試行を始める予定で研修を重ねています。広報委員会では、みなさんからの投稿をおまちししています。ご意見などありましたら議会事務局までお寄せ下さい。

岩根 記

第4回定例議会から、議会改革の一貫として、IP告知放送により一般質問の議員の順番と議題を、質問日前日に放送しましたが、当日は40人余りの傍聴者で午前中は入場できない人も出る状況となり、議員も緊張しながらも質問に熱が入り盛況でした。

今後は、放送の日時を考慮し、より傍聴者が増え議員の質の向上と議会活性化に繋がるよう改善を図りたいと思います。

みなさま方の傍聴に心からお礼申し上げます。



傍聴者今期最大

編集後記

